

2020・2021 年度

大阪教育大学男女共同参画報告書

大阪教育大学ダイバーシティ推進報告書

～2021年6月に男女共同参画推進会議はダイバーシティ推進会議になりました～

2022（令和4）年3月

国立大学法人大阪教育大学  
ダイバーシティ推進会議  
ダイバーシティ推進室

## はじめに

本報告書は、大阪教育大学における 2020 年度から 2021 年度まで 2 年間にわたる男女共同参画推進及びダイバーシティ推進に向けた活動報告を収録したものです。

2010 年に緒についた本学の男女共同参画推進活動は、すでに 10 年余が経過しました。この間、ジェンダー平等の観点から男女共同参画を実現するための理念や指針を定め、その推進を目指した行動計画を立案し、様々な事業を展開してきました。

2017 年度からは、大阪市立大学を代表機関とする「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）事業に」、和歌山大学及び積水ハウス株式会社とともに共同実施機関として参画しております。本報告書Ⅳに関連する事業報告を掲載しておりますので、ご確認ください。来年度最終年度を迎える本事業に参画することで、本学固有の課題が浮き彫りになっただけでなく、総合大学や企業の先進的な取組事例に触れる好機が得られました。また、関連事業として南近畿エリアのネットワークの構築へと進展し、大阪商工会の参入など産官学の連携・協働が一層充実しました。それぞれの関係機関が所有する資源を提供し合うことで、有機的・相互補完的かつ持続可能な取組の実現へと歩を進めております。

本学の大きな動きとしては、2021 年 6 月に「男女共同参画推進会議」が「ダイバーシティ推進会議」に、「男女共同参画推進会議企画専門部会」が「ダイバーシティ推進室」に生まれ変わったことが挙げられます。これまでの男女共同参画を推進する取組に加え、本学がダイバーシティを実現すべくその機能を拡充させていくことを意図しています。このことは、2022 年度の教員養成フラッグシップ大学として指定を受けた本学が掲げるテーマ『ダイバーシティ大阪の諸課題に応え、学習者の学びに寄り添う教師の育成』にも通底しています。次年度には、本学が目指すダイバーシティとは何か、理念や指針の明確化を図るとともに、構成員への周知も課題と考えています。

2 年間の取組に対して、大阪府府民文化部男女共同・府民協働課の片伯部真由課長に中間評価を受けました。片伯部様からは、本学の 5 つの行動計画に対して、詳細かつ具体的な評価コメントをいただきました。本報告書のⅨに掲載いたしましたのでご確認ください。ご指摘を受けた点は、次年度以降の課題として情報共有し、男女共同参画及びダイバーシティの推進に向けて、取り組んでまいり所存です。この場をお借りして、改めて御礼申し上げるとともに、引き続き厳しい目でチェックしていただければ幸甚です。

2022 年 3 月

国立大学法人大阪教育大学ダイバーシティ推進室

室長 鈴木 真由子

# 国立大学法人大阪教育大学における男女共同参画推進指針

平成23年2月15日

国立大学法人大阪教育大学

「すべての人は法の下において平等である」と世界人権宣言が示す理念の実現に向けて、我が国でも様々な取組がなされてきました。

国立大学法人大阪教育大学（以下「本学」という。）は、学芸の研究・教授につとめ、高い学識と豊かな教養をもつ人材、特に有為な教育者を育成することをその目的としています。本学は、草創期の1870年代から豊かな人材を社会に多数輩出してきましたが、社会に開かれた大学の責務として、性別にかかわらず個性と多様性を認め合いその能力を十分に発揮することのできる男女平等社会の実現に向けて、さらなる取組を推進し続ける必要があります。

それゆえ、本学は、ジェンダー平等の視点に基づく男女共同参画を推進するため、ここに、基本理念及び基本方針からなる男女共同参画推進指針を定めます。

## 基本理念

本学は、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）が示す以下の基本理念を積極的に受けとめ、男女共同参画社会の実現を目指します。

- (1) 男女の個人としての尊厳と人権の尊重
- (2) 制度又は慣行が男女の社会活動に及ぼす中立的でない影響の是正
- (3) あらゆる分野における施策の企画・立案及び決定についての男女の対等な参画
- (4) 家庭生活における役割の遂行と他の活動との両立
- (5) 国際的協調の下における男女共同参画社会の形成

## 基本方針

本学は、上記の基本理念に基づき、以下の基本方針に沿って行動します。

- (1) 男女共同参画の視点に立ち、個人としての尊厳と人権が尊重される教育・研究・就業及び修学の環境を確立します。
- (2) 教育・研究・就業及び修学と家庭生活との調和を支援します。
- (3) 次世代育成支援のための環境を整備します。
- (4) 男女共同参画の啓発活動とジェンダーの視点を取り入れた教育研究を推進します。
- (5) 地域社会・国際社会との連携を通して男女共同参画を推進します。

## 目 次

<b>I 大阪教育大学における男女共同参画に関する現状把握</b> .....	1
1. 国立大学における教員の女性比率と大阪教育大学 .....	1
1) 教員の職名別における女性比率	
2) 新規採用教職員における女性比率	
3) 管理職等に占める女性比率	
4) 事務系職員に占める女性比率	
5) 教職員の世代別における女性比率	
2. 大阪教育大学における教員と学生の女性比率 .....	7
1) 所属別における教員の女性比率	
2) 属性別における学生の女性比率	
3. 2021 年度大阪教育大学両立指標 .....	11
<b>II 教職員を対象としたダイバーシティに関する意識調査</b> .....	18
1. 調査の概要 .....	18
1) 調査目的	
2) 調査方法	
2. 調査の結果 .....	18
1) 回答者の属性	
(1) 性別比率	
(2) 年齢構成	
(3) 職種別	
(4) 勤務地別・通勤時間別	
2) 回答者やその家族の状況	
(1) 同居家族の有無	
(2) 同居家族の内訳と状況	
3) 職場環境や男女共同参画・ダイバーシティに関する意識	
(1) 職場環境に関する意識	
(2) 子育て及び介護に関する意識	
(3) 性別役割分担意識	
(4) 男女共同参画・ダイバーシティ推進等に関する認知度	
(5) ダイバーシティ関連項目に関する理解度	
<b>III 教育・啓発活動</b> .....	31
1. 教職員セミナーの実施 .....	31
1) 2020 年度教職員セミナー	
2) 2021 年度教職員セミナー	
2. 関連授業の実施 .....	35
1) キャリアデザイン	
概要	
2) ジェンダーとセクシャリティ	
概要	
2020 年度後期 ジェンダーとセクシュアリティ	
2021 年度後期 ジェンダーとセクシュアリティ	
3. 大教大ロールモデルの発信 .....	41
1) 大学ウェブページへの女性教員の講義動画掲載	
2) ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブにおけるロールモデルの発信	
4. 研究助成事業の実施 .....	43
1) 2020 年度研究助成事業	
2) 2021 年度研究助成事業	

<b>IV 学外との連携</b> .....	44
1. 大阪市立大学「女性研究者ネットワークシステム」共同利用 .....	44
2. 文部科学省科学技術人材育成費補助事業の実施 .....	44
1) 連携型共同研究助成費付与	
2) 研究支援員制度	
3) 「ダイバーシティ保育サポーター」養成セミナー	
4) 管理職研修／ダイバーシティ推進セミナー	
5) 外国語論文校閲・翻訳費用助成事業	
6) 保育サポート事業	
7) 女性研究者交流会	
<b>V 環境整備</b> .....	52
1. ベビーキープ等の設置と授乳室の整備 .....	52
2. クロスアポイントメント制度の導入 .....	53
<b>VI 行動計画の遂行</b> .....	54
1. 大阪教育大学男女共同参画推進行動計画 .....	54
2. 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画 .....	57
3. 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画 .....	59
<b>VII 活動経過</b> .....	61
1. 男女共同参画推進会議・ダイバーシティ推進会議の開催 .....	61
2. 男女共同参画推進会議企画専門部会・ダイバーシティ推進室会議の開催 .....	61
<b>VIII ダイバーシティ推進</b> .....	64
1. 大阪教育大学ダイバーシティ推進会議 .....	64
2. 大阪教育大学のダイバーシティ推進に向けての取り組み .....	69
1) 教職員セミナーの実施	
2) 要望書の提出	
<b>IX 外部評価</b> .....	88
1. 外部評価の概要 .....	88
1) 外部評価員	
2) 対象期間	
3) 実施日・場所	
4) 実施方法	
2. 外部評価の結果 .....	88
1) 行動計画1－学内人員構成及び管理運営への参画	
2) 行動計画2－ワークライフバランス支援（学業と家庭生活の調和を含む）	
3) 行動計画3－施設整備関係	
4) 行動計画4－教育・研究・啓発	
5) 行動計画5－社会へ果たす役割	
6) まとめと今後の課題について	
7) ダイバーシティ推進について	

## 資料